

サプライチェーンマネジメント

▶ 基本的な考え方

購買部門は企業の社会的責任を果たすため、お取引先であるサプライヤーとの相互理解、法令・社会規範の遵守を積極的に推進しています。さらに、サプライヤーから供給された優れた資材をよりよい製品づくりに活かし、お客様に提供しています。

※ ミウラグループの「調達の基本方針」はウェブサイトでご覧いただけます。<https://www.miuraz.co.jp/csr/social/basic.html>

▶ サステナブル調達と推進体制

当社はサプライヤーとの取引基本契約書に、環境保全に関する条項として、「廃棄物削減、省資源、省エネ、リサイクルを推進し、地球環境に与える負荷の軽減に努める」旨を定めています。このたび、「ミウラグループサステナブル調達ガイドライン」として2021年8月に、紛争鉱物の使用禁止に努める内容を含む11項目を制定し、ウェブサイト上で公開およびサプライヤーへの周知も行いました。同時期に、グリーン調達の取り組みとして、「ミウラグループグリーン調達ガイドライン」(2017年10月に制定)から基本的な考え方を抜粋した「ミウラグループグリーン調達指針」も制定しました。有害物質の調査については調査を開始しており、自社のボイラ薬品は、ガイドラインに記載された

有害化学物質の非含有を保証できる体制を整えています。

「ミウラグループサステナブル調達ガイドライン」は、ウェブサイトでご覧いただけます。
<https://www.miuraz.co.jp/assets/pdf/csr/coproduction-guideline-202204.pdf>

2022年3月期も前年度同様に、新型コロナウイルス感染症の影響がありサプライヤーからの部品供給の納期遅延がりましたが、製造・フィールドエンジニア活動の停滞はありませんでした。また、2023年3月期は以下の取り組み方針としています。

1. ミウラグリーンシフト(有害化学物質ゼロ宣言)に向けた部品調達、生産取り組みの推進継続
2. 紛争鉱物の不使用に向けた取り組み

▶ 調達におけるBCPの取り組み

2022年3月期は、海外サプライヤーのリスク管理やBCP基準における対象機器部品の再検討を行いました。来期には重要機能部品の安全在庫(海外グループ工場)の検討に取り組みます。

▶ サプライヤーと一体になった品質向上に向けた取り組み

ミウラグループでは、生産統括本部を中心に設計・グループ製造会社・資材調達および協力会社の4部門で、常に品質向上に向けた四位一体改革を推進し、高品質・低コスト・短納期を実現する生産体制の構築をめざしています。「TS(トップサプライヤー)優良製造会社認定制度」を2009年3月期より開始し、現在は、TS8社と理念を共有し、QCDF^{*1}の追求と、長年にわたる相互信頼・WIN-WINの関係を構築しています。

TS8社および重要な機能部品サプライヤーに対しては、毎年、生産品質部が品質監査を実施しており、2022年3月期は概ね問題ありませんでした。

※1 QCDF: Quality(品質)、Cost(コスト)、Delivery(納期)、Flexibility(適応性)

経営者会議

当社社長執行役員 CEOをはじめとした経営層とTS8社の経営者が参加し、年1回開催している会議です。品質向上・納期対応・コストダウンの各社の目標、実績、自主点検結果を開示して、評価報告と意見交換を実施しています。

PC交流会(Process Change for the better)

当社の設計・調達とTS8社および主要協力会社の担当者による製造方法の改善、設計の品質向上を図る活動です。本会を通して改善し、削減できた加工時間は、電力消費量に換算され、部品製作におけるCO₂排出量の抑制に役立てています。その成果は経営者層に会議を通して報告しています。これからも環境負荷低減に向け継続的に取り組んでいきます。

▶ 「パートナーシップ構築宣言」への登録

当社は、2021年7月、「パートナーシップ構築宣言」に登録し、サプライヤーとの連携・共存共栄を進め、働き方や生産性向上、BCP策定助言などの全体的なサプライチェーンの価値向上と、取引習慣の遵守・関係構築に取り組んでいきます。

当社が中小企業から購入している資材品、調達品に関しての

支払いを2022年5月納入分より電子決済サービス支払い(サイト120日)から全額振り込み支払いに変更するなどの取り組みを実施しています。

パートナーシップ構築宣言については、公益財団法人全国中小企業振興機関協会ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.biz-partnership.jp/index.html>